

令和6年度 麻布幼稚園学校評価
学校関係者評価結果報告書

令和7年2月3日 港区立麻布幼稚園

令和7年2月3日
港区立麻布幼稚園
園長 酒井 正美

令和6年度 麻布幼稚園学校評価報告書

【学校評価の方法と経緯】

保護者、幼児、学校運営協議会委員、教職員にアンケートを実施しました。

〈各アンケート回答率〉

保護者	86% (在園児数70名に対して60名の回答)
幼児	84% (在園児数70名に対して59名の回答)
学校運営協議会	69% (運営協議会委員16名に対して11名の回答)
教職員	100% (正規教員5名に対して5名の回答)

アンケートの結果を基に、自己評価を行い、学校運営協議会に提示しご意見をいただきました。

【学校評価の各項目】

〈幼稚園運営〉

保護者アンケートでは、6つの項目の中、項目については、A(当てはまる)、B(やや当てはまる)の合計が98.4%以上、2項目については90.8%以上でした。概ね幼稚園運営へのご理解をいただきました。

- (1)については、A、B合わせて98.5%であり、昨年度に引き続きX(旧 twitter)等の発信やアプリ「コドモン」を利用した園便りや手紙の発信への評価をいただきました。学級の保護者に向けた写真を中心としたドキュメンテーションによる発信、回答機能を使用したアンケートの実施や行事の感想文の提出についても評価をいただきました。しかし、B(やや当てはまる)のが32.3%であったことから、幼児の取組や成長の様子をより伝えるための内容の充実、発信のタイミング等について改善していきたいと考えます。
- (5)については、A、B合わせて、93.8%以上であり、昨年度より3.8%上昇しました。これは、新型コロナウイルス感染症の影響を受けずに、主に5歳児が、麻布小学校の1年生や5年生との交流を実施することができたこと、保育園の5歳児を行事等に招いて交流ができたことからの評価と受け止めています。地域の公立幼稚園として、近隣の保育園に園庭を開放したりそこで交流をしたりという取組も実施できました。
- (6)は、A、B合わせて、98.5%以上であり、昨年度より1.8%上昇しました。麻布っ子まつりへの未就園児親子の参加や未就園児の会(らっこクラブ)の実施を週1回にしたことの定着や在園児との交流、園庭の積極的な活用の評価と受け

止めています。国が進める「こども誰でも通園制度」を鑑み、区立幼稚園としてできることを推進していきたいと考えています。

〈教育内容・指導〉

- 8項目中7項目で、A、B合わせて95.4%以上であり、概ね教育内容・指導への評価をいただいているものと受け止めています。昨年度と大きく変化のあった項目はなく、引き続き教育内容・指導の充実に努めてまいりたいと思います。

〈安心・安全〉

- 3項目全てについて、A、B合わせて92.4%以上であり、安心・安全な園の施設の維持、安全教育への理解をいただいているものと受け止めています。正門、通用門、玄関のオートロックの確実な施錠、保護者・来園者のネームプレートの着用と確認を確実に継続していきます。毎月1回の避難訓練では、地震、火災、不審者対応、Jアラートといった危機を想定した避難訓練を実施しています。その他、教職員の研修として、不審者対応訓練、アレルギー（エピペン）研修、AED研修を実施しています。今後も、より実際の事態を想定した備えや訓練を実施し、非常事態に備えます。感染症についてのより詳細な情報を求める意見が自由意見にありました。個人情報に配慮しつつ、感染が広がらないための情報提供に努めます。

〈その他〉

- (18)については、A、B合わせて100%という結果でした。保護者・学校評議員の皆様には、行事への積極的な参加・参観や行事後等のアンケートへの協力をいただいています。幼稚園への関心や期待をいただいていると受け止め、今後も保護者、地域の皆様と共に幼稚園経営を進めてまいります。
- (19)(20)では、A、B合わせて90.8%という結果でした。幼稚園における国際理解教育の推進として、自国文化に親しむ取組、他国の文化に興味・関心をもつ工夫をしてきたことに対するご理解をいただいているものと受け止めています。引き続き、地域・保護者の皆様にご協力いただくと共に、区の予算を活用し講師を招聘し、お茶会、七夕や餅つきといった伝統的な季節の行事、礼法教室、親子論語の会、保護者に話をしてもらう会などを積極的に実施していきます。幼稚園NTは、今年度から週3回の配置となりました。幼児が幼稚園NTに親しみをもち、簡単な英語で関わったり、英語の歌を口ずさんだりする姿が見られ、保護者からも肯定的に受けとめられています。引き続き、活用を研究してまいります。

学校運営協議会委員からは、日本文化を大切にせる教育など、特色ある教育が実施されていることに評価をいただきました。今年度の作品展内容がこれまでと変更になったことについては、昨年度までのような内容を望むご意見がありました。年間の計画の中で幼児の経験を踏まえた実施内容としていきたいと考えています。

令和7年度の基本方針（案）

港区学校教育推進計画 後期計画で取組強化をする「7つ」の事業

- 国際理解教育の充実
- ICTを活用した学びの充実
- 基礎学力・活用力の習得
- いじめ防止推進事業の充実
- 健康な体づくり
- 環境教育の充実
- 教員の働き方改革の推進

太字は、港区立幼稚園、小学校、中学校が令和7年度 特に取組強化する3事業

令和7年度 麻布幼稚園 では

- 幼児期からの国際理解教育を進めます。
 - ・自国の文化に親しみ、他国の文化に興味や関心をもつ子どもを育てます。
 - ・幼稚園N Tと関わる楽しさを感じ、英語に親しみ、多様な人と関わることに楽しいと感じる子どもを育てます。
- 基礎学力・活用力の習得につながる力を育てます。
 - ・基本的な生活習慣を身に付くようにし、健康な体をつくり、進んで体を動かして遊ぶ子ども、粘り強く取り組む子どもを育てます。
 - ・「早寝、早起き、朝ごはん、朝ウンチ」が習慣となり、自分のことは自分でする子どもを育てます。
 - ・身の回りのことに興味、関心をもち、主体的に関わり、自分なりに考えたり表現したりする子どもを育てます。
- 幼児の学び（遊び）の充実に向け、ICTの活用を進めます。
 - ・幼児の実態に合わせた遊びの中でICT活用を進めます。
 - ・幼児が将来、ICTを有効に活用するために必要な力や情報モラルを、教職員、保護者が学び共有する機会を設けます。